

津島市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

調査結果概要

I 調査の概要

1 調査の目的

津島市子ども・子育て支援事業計画（2020～2024 年度）の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

津島市在住の就学前児童をお持ちの方を無作為抽出

津島市在住の小学生児童をお持ちの方を無作為抽出

3 調査期間

平成 30 年 12 月 11 日から平成 30 年 12 月 21 日

4 調査方法

郵送による配布・回収（内 800 通、園・学校配布）

5 回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,500 通	1,024 通	68.3%
小学生児童保護者	500 通	426 通	85.2%

(参考) 前回の回収状況

	配 布 数	有効回答数	有効回答率
就学前児童保護者	1,667 通	995 通	59.7%
小学生児童保護者	552 通	485 通	87.9%

II 調査結果（抜粋）

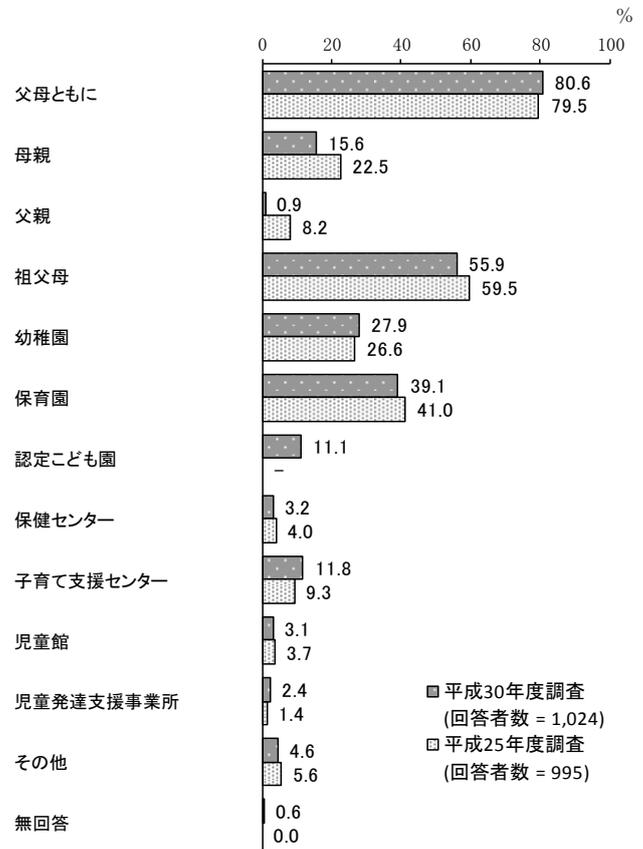
1 就学前児童

子育てに日常的に関わっている方（施設）

「父母ともに」の割合が 80.6%と最も高く、次いで「祖父母」の割合が 55.9%となっています。

幼稚園、保育園、認定こども園のいわゆる「教育・保育施設」については、合計で 78.1%となっており、平成 25 年度調査では 67.6%でしたので、10.5 ポイントの増となっています。

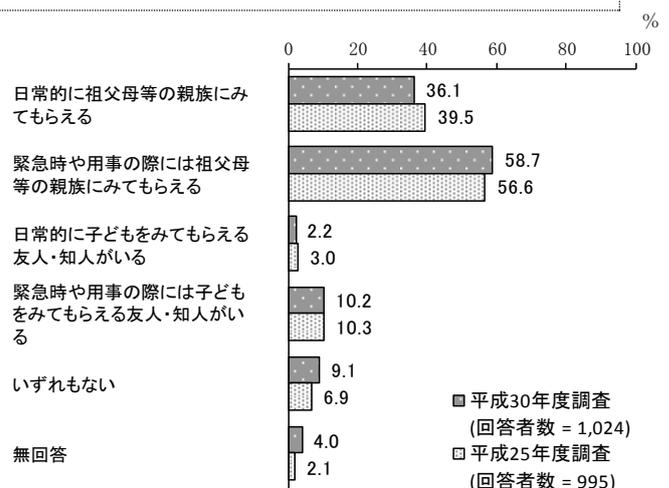
また、平成 25 年度調査と比較すると、「子育て支援センター」の割合が増加しています。一方、「母親」「父親」「保健センター」の割合が減少しています。



おさんをみてもらえる人の有無

「緊急時や用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 36.1%、「緊急時や用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 10.2%となっています。

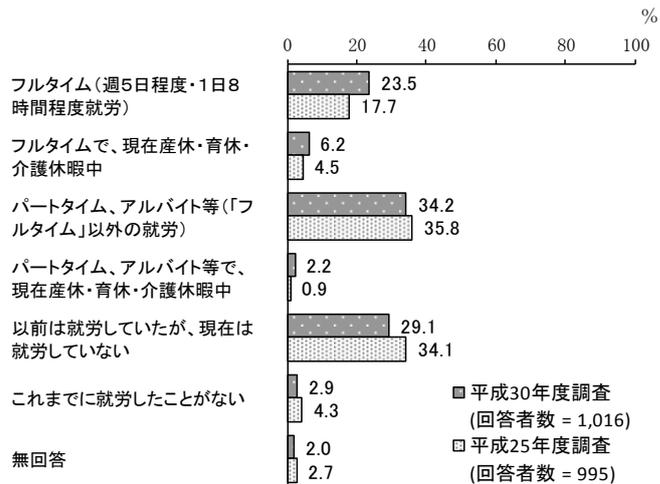
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



現在の就労状況（母親）

「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）」の割合が 34.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が 29.1%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）」の割合が 23.5%となっています。

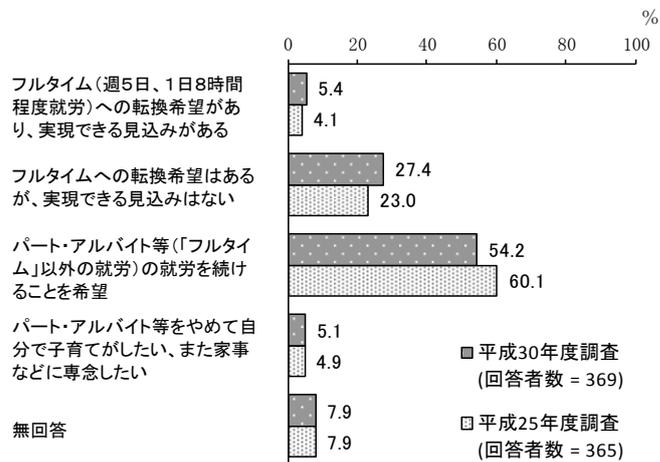
平成 25 年度調査と比較すると、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度就労）」の割合が増加しています。



フルタイムへの転換希望（母親）

「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」の割合が 54.2%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が 27.4%となっています。

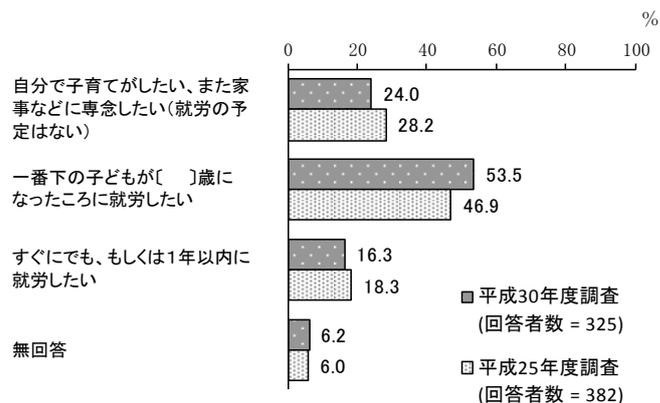
平成 25 年度調査と比較すると、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）の就労を続けることを希望」の割合が減少しています。



就労希望（母親）

「一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が 53.5%と最も高く、次いで「自分で子育てがしたい、また家事などに専念したい（就労の予定はない）」の割合が 24.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が 16.3%となっています。

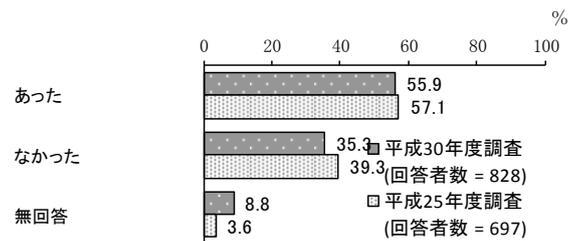
平成 25 年度調査と比較すると、「一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」の割合が増加しています。



この1年間に、お子さんが病気やケガで施設・サービスを利用できなかった経験

「あった」の割合が55.9%、「なかった」の割合が35.3%となっています。

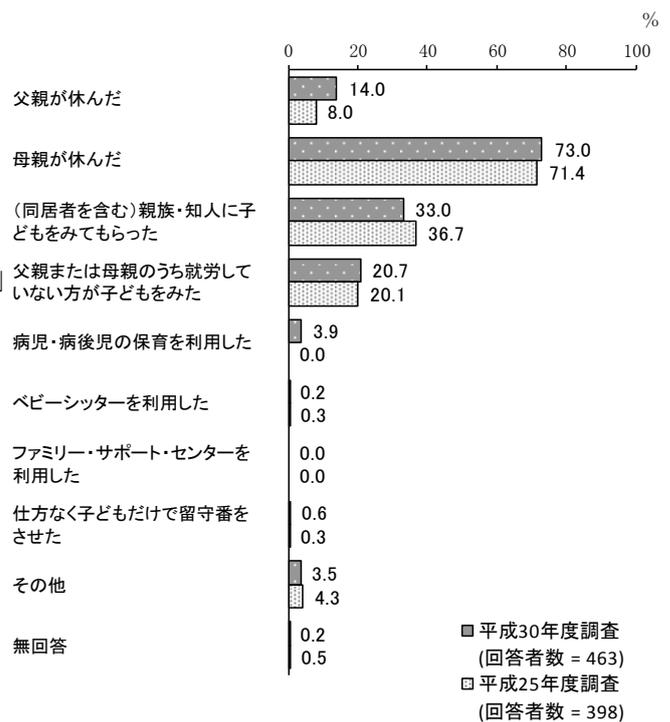
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



その際の対処方法

「母親が休んだ」の割合が73.0%と最も高く、次いで「(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が33.0%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が20.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が増加しており、「病児・病後児」の利用も増加しております。

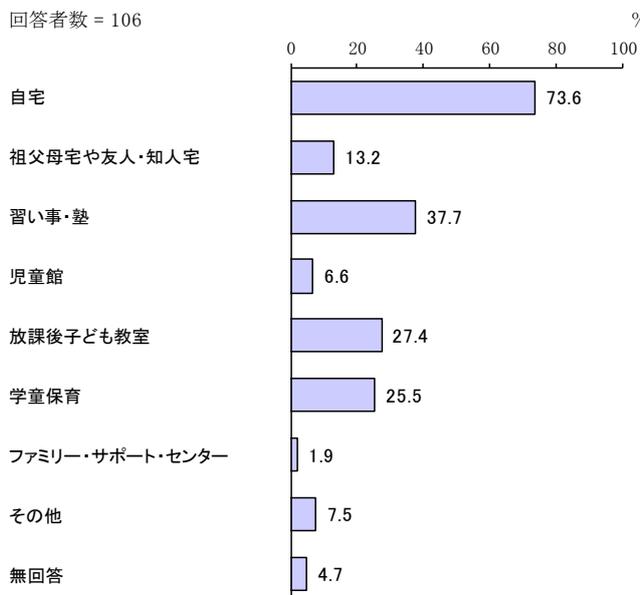


放課後に過ごさせたい場所

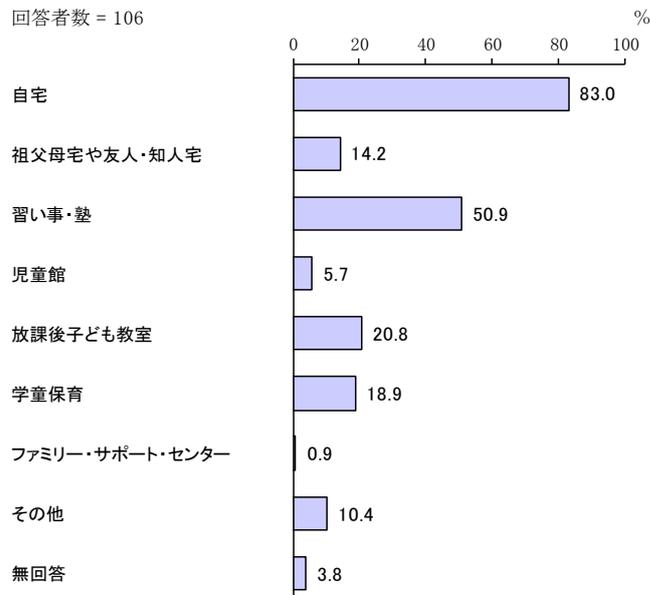
小学校低学年（1～3年生）のうちでは、「自宅」の割合が73.6%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が37.7%、「放課後子ども教室」の割合が27.4%となっています。

小学校高学年（4～6年生）のうちでは、「自宅」の割合が83.0%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が50.9%、「放課後子ども教室」の割合が20.8%となっています。

【小学校低学年（1～3年生）】



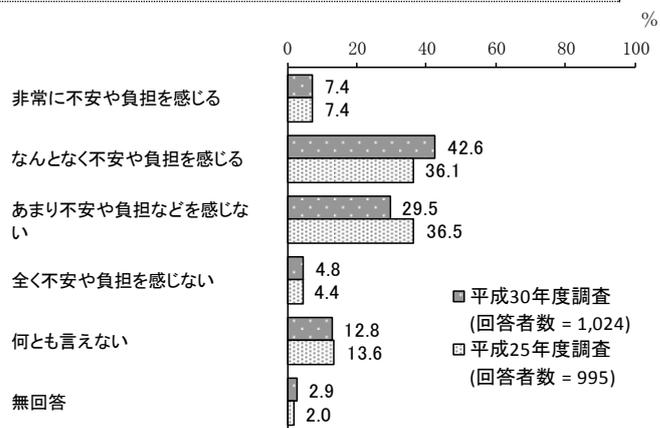
【小学校高学年（4～6年生）】



子育てをどのように感じることが多いか

「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が42.6%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などを感じない」の割合が29.5%、「何とも言えない」の割合が12.8%となっています。

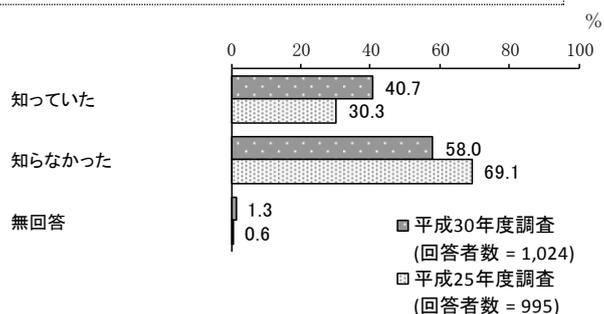
平成25年度調査と比較すると、「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が増加しています。一方、「あまり不安や負担などを感じない」の割合が減少しています。



児童虐待相談の窓口として児童相談所（海部児童・障害者相談センター）の他に、市が窓口になっていることを知っているか

「知っていた」の割合が40.7%、「知らなかった」の割合が58.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「知っていた」の割合が増加しています。一方、「知らなかった」の割合が減少しています。

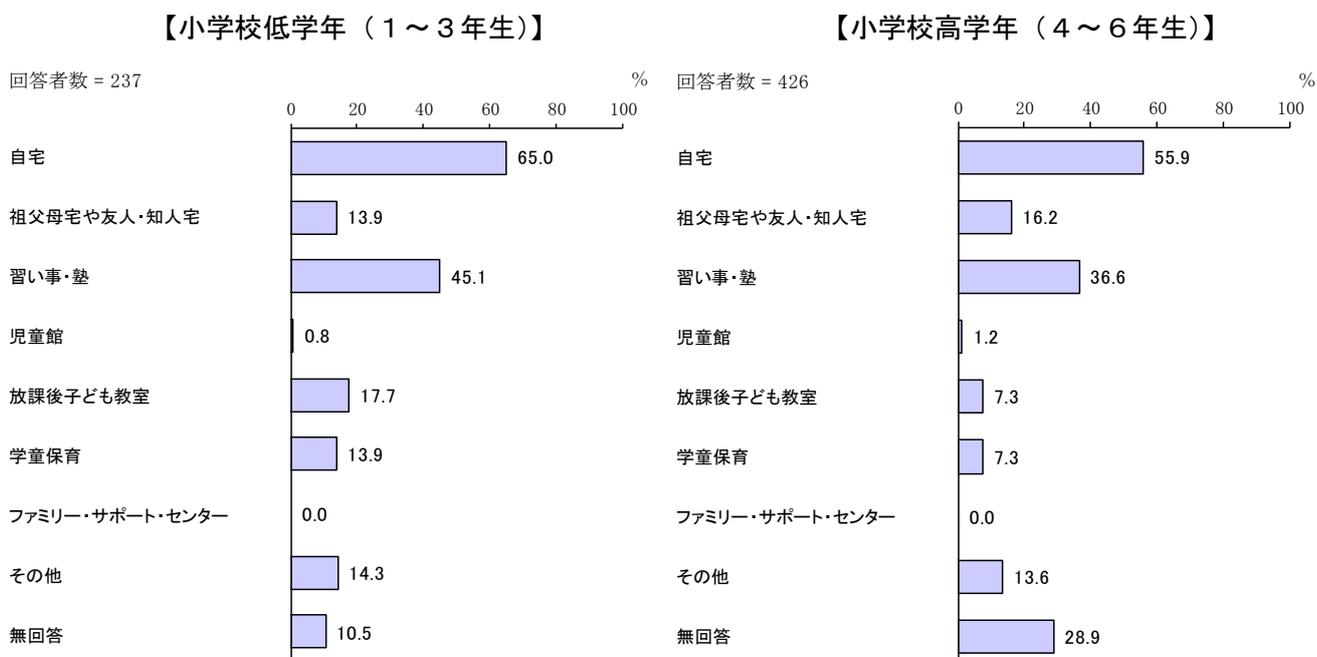


2 就学児童

放課後に過ごさせたい場所

小学校低学年（1～3年生）のうちでは、「自宅」の割合が65.0%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が45.1%、「放課後子ども教室」の割合が17.7%となっています。

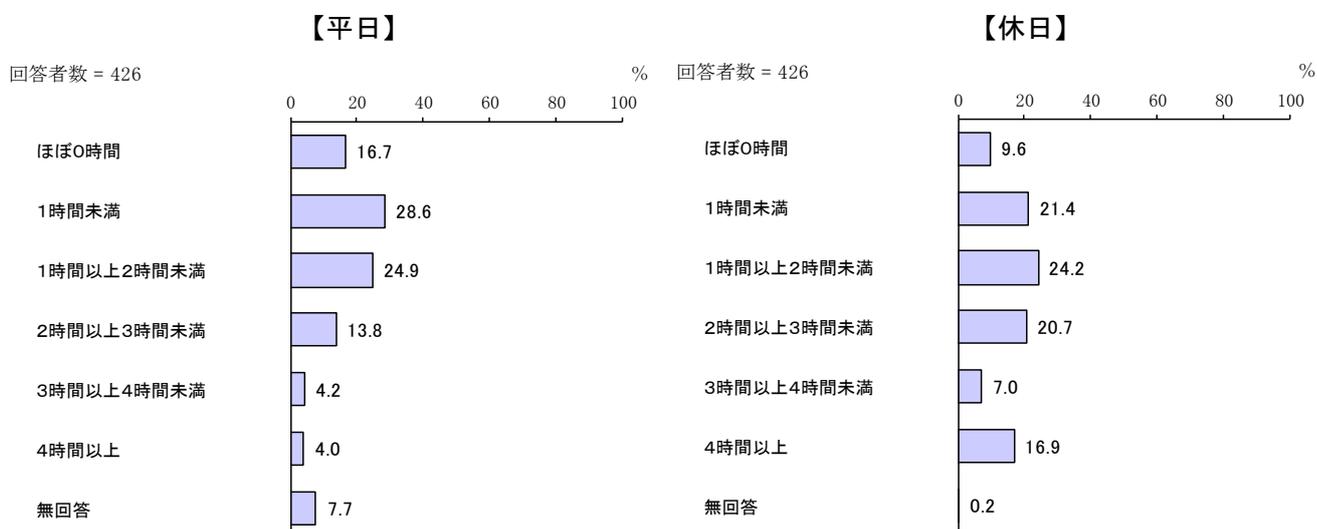
小学校高学年（4～6年生）のうちでは、「自宅」の割合が55.9%と最も高く、次いで「習い事・塾」の割合が36.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」の割合が16.2%となっています。



スマートフォンやゲーム機等を利用している時間（1日平均）

平日では、「1時間未満」の割合が28.6%と最も高く、次いで「1時間以上2時間未満」の割合が24.9%、「ほぼ0時間」の割合が16.7%となっています。

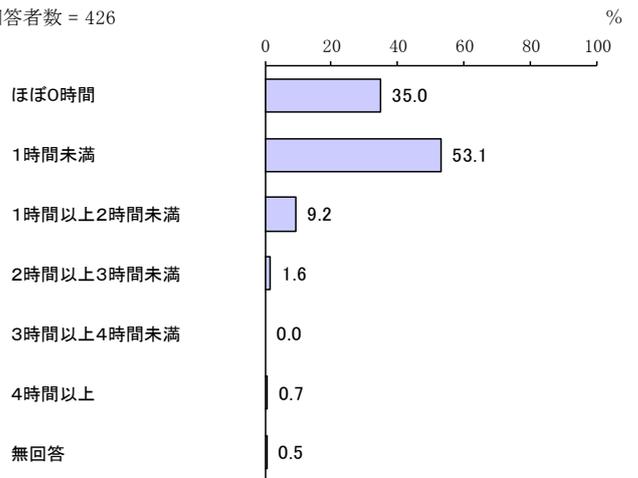
休日では、「1時間以上2時間未満」の割合が24.2%と最も高く、次いで「1時間未満」の割合が21.4%、「2時間以上3時間未満」の割合が20.7%となっています。



ご家庭での読書時間（1日平均）

「1時間未満」の割合が53.1%と最も高く、次いで「ほぼ0時間」の割合が35.0%となっています。

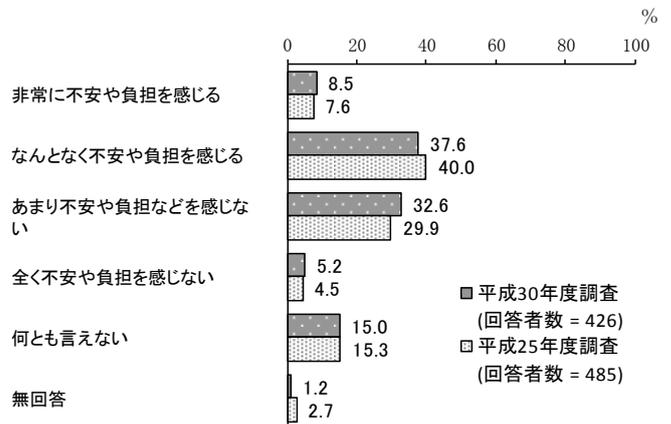
回答者数 = 426



子育てをどのように感じることが多いか

「なんとなく不安や負担を感じる」の割合が37.6%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などを感じない」の割合が32.6%、「何とも言えない」の割合が15.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



児童虐待相談の窓口として児童相談所（海部児童・障害者相談センター）の他に、市が窓口になっていることを知っているか

「知っていた」の割合が27.9%、「知らなかった」の割合が71.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

